

## 「高い発信力を持った地域資源を活用する社会」地域資源活用事例

地域資源活用の形態	名称
①地域資源の価値の発掘・認識	
・ 外部視点の活用	シェフとの連携によるトマト加工品の開発と農家カフェでの販売 未利用資源の再生燃料化によるエネルギー自給型シイタケ生産システムの確立 大学等の知的資源を活用した地域産業の復興支援 海外観光客をターゲットにした交流、農山漁村の活性化
・ 研究・開発の推進	新規の抽出・濃縮技術による果実香料素材開発
②地域資源の価値の維持・向上	
・ 地域資源のブランド化	地域ぐるみでのブランド野菜の生産 地域一体となった放射性物質の吸収抑制対策 福島県認証ブランド「川俣シャモ」 原木しいたけの生産工程の管理を進め、安全な原木しいたけ供給を実現 世界を相手にできる女川ブランドの構築による女川町の水産業全体の持続的発展 「仙台いちご」ブランドが東北最大のいちご産地の復興にはずみ
・ 人材の活用	被災した養殖業者、新たな漁業者による養殖業復興の取組 被災地復興のためのリーダーの右腕の派遣
・ 分野横断的な取組	異業種5社による五篤丸水産の設立 「みなと」を活用したイベント開催による地域の活性化 川上から川下の連携による復興住宅の供給
・ 地域ぐるみでの地域資源の管理	ふゆみずたんぼプロジェクト 基幹水利施設の整備を契機に地域ぐるみで保全活動
・ 技能・技術の活用	木質燃料用暖房器とワカメ生産用省力化機器の製造・開発
③地域資源の価値の売込	
・ 販路開拓	常温で保存が可能なさんまの開発・販路開拓 トレーラーハウスによる旅館の再開
・ 異業種との連携	地域鉄道の観光資源としての活用 遠野グリーン・ツーリズムの推進 「語り部」を活用した観光プログラム